

2017年10月①『ヒヨドリバナ』

ヒヨドリバナ（キク科）

ヒヨドリバナ(キク科)。

ヒヨドリが鳴くころに咲くのでこの名がついたというのが定説。

▼ヒヨドリバナ (撮影/2018年10月某日)



一方、乾いた花がらに火を近づけると、ポツと燃える。

火打石で炎を取るために使われ"火取花"とついた。それがなまって"ヒヨドリバナ"になった説もある。

アサギマダラの飛来地はヒヨドリバナの変種と見られる。